

《 要旨 》

1. 視聴率動向と編成戦略

2019年第12週の視聴率は7週連続で、年間10回目、年度36回目の三冠王を獲得した。年度や年間の視聴率では、昨年の同時期と比較すると少し数字を落としているところもあるが、全体としては良い数字を維持している。現状に満足せず番組ではトライアルを多くしていきたい。

2. 営業状況

・ **放送収入**

2月の放送収入は、去年の平昌五輪の反動で、ネットタイムは前年を下回っているが、スポットは前年を上回った。

・ **放送外収入**

「名探偵コナン 紺青の拳（こんじょうのフィスト）」は4月12日（金）公開。コナン作品は、23作目になり、7作品連続で歴代最高興行収入を更新しており国民的アニメに成長した。

4月19日（金）公開の「キングダム」は 中国の春秋戦国時代を舞台にした漫画の実写化。中国ロケも敢行するなどスケールの大きい作品なので、期待してほしい。

3. その他

・日曜ドラマについて

日曜ドラマは「今日から俺は！！」「3年A組 ―今から皆さんは、人質です―」と2作連続でヒットとなり、脚本、出演者へはもちろん、応援してくださった視聴者に感謝している。日曜の夜10時半という枠でも、響く作品であれば視聴者にリアルタイムで見て頂けることが分かった。4月期は25年ぶりの2クール連続作品なので気を引き締めて準備している。

・4月期新番組について

水曜19時の新レギュラー番組「衝撃のアノ人に会ってみた！」は、スポーツ局が中心に制作するバラエティ番組。ラグビーW杯や東京オリンピック・パラリンピックなどスポーツイベントを見据えた編成だが、アスリート以外もしっかりと取り上げていく。

金曜プラチナイトとして、中居正広さんMCの新番組「新・日本男児と中居」（毎週金曜24時30分～59分）が5月3日から始まる。

・巨人戦の配信について

D A Z N側から配信したいと要望があり、関係者と協議の結果、“ジャイアンツ、そしてプロ野球全体の魅力が視聴者に届きやすくなる良い機会”と捉え判断した。視聴者とプロ野球との接点が増えることで、プロ野球人気の盛り上がりを期待したい。

・視聴率における新指標について

個人視聴率については、デジタルメディアとの比較という意味でも数年来研究してきた。1人でも多くの「人」に見てもらえることを目指し、番組制作や編成をする上での社内指標として、個人視聴率へシフトすることを決断した。

(了)

大久保好男 代表取締役 社長執行役員

廣瀬健一 取締役執行役員 日テレラボ室長

福田博之 取締役執行役員 編成局長